

ウエザーニュース、都道府県ごとの花粉飛散時期とピークを発表 2月上旬に関東から花粉シーズンスタート、飛散ピークは2月下旬から ～飛散量は全国的に少なめ、全国平均で平年の8割強、2019年の6割予想～

株式会社ウエザーニュース(本社:千葉市美浜区 代表取締役社長:草開千仁)は2020年の花粉シーズンに向け、「第二回花粉飛散傾向」(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)を発表しました。

今冬の気温は平年並か平年より高い予想で、花粉シーズンの開始時期は平年並かやや早くなる見込みです。2月上旬に関東を中心に飛散が始まり、2月中旬には近畿や東海など西・東日本の広範囲で飛び始め、3月上旬にかけて飛散エリアが東北へと拡大します。西・東日本の飛散ピークは、スギ花粉が2月下旬～3月中旬、ヒノキ花粉が3月下旬～4月中旬の予想です。

飛散量は、東北日本海側を中心に平年を上回る地域があるものの、全国的に平年を下回る予想です。全国平均では平年の85%程度とみており、2019年の半分以下の飛散量になる地域もあります。ただ、総飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量の花粉が飛散することがあるため、油断せずにシーズン前からしっかりと対策を行ってください。

※1 アプリ「ウエザーニュース」の利用者に、スギの雄花の様子を写真とコメントで報告していただきました(調査期間:11月8日～15日、報告数:558件)。

※2 予想飛散量の詳細は「第一回花粉飛散傾向」からご覧いただけます。(https://jp.weathernews.com/news/29159/)

✓ポイント

1. 2月上旬に関東から花粉シーズンスタート、2月中旬に西・東日本の広範囲へ、3月上旬にかけて東北へ飛散エリアが拡大
2. スギ花粉の飛散ピークは2月下旬～3月中旬、ヒノキ花粉は3月下旬～4月中旬
3. 花粉の飛散量は全国的に少なめ、全国平均で平年比85%、2019年の半分以下の地域も

本プレスリリースの素材のダウンロード	「第二回花粉飛散傾向」の一般向けサイト	
ウェブ版プレスリリース「第二回花粉飛散傾向」 https://jp.weathernews.com/news/29947/	スマホアプリ「ウエザーニュース」をダウンロード後、『お知らせ』にアクセス	ウエザーニュースウェブサイト「第二回花粉飛散傾向」 https://weathernews.jp/s/topics/201912/050055/

◆2020年「第二回花粉飛散傾向」

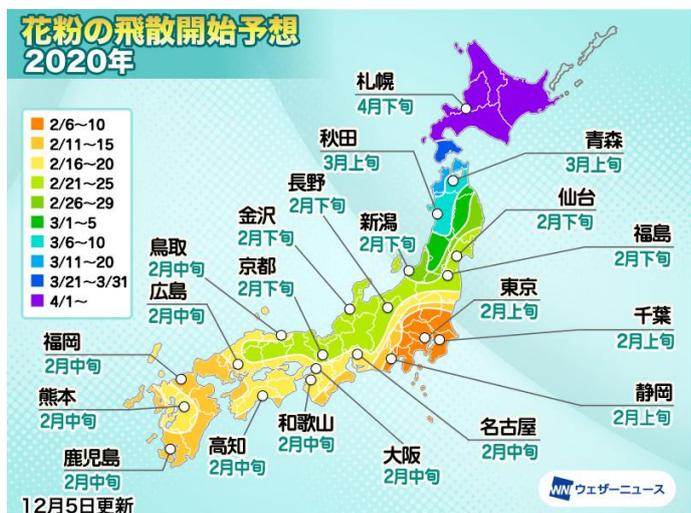
<飛散開始時期:花粉シーズン開始は2月上旬、関東が飛散開始一番乗りに>

スギの雄花は、冬の寒さを経験することで休眠から目覚め(休眠打破)、寒さがピークを過ぎて暖かくなると、花粉を飛ばし始めます。このため、冬の適度な寒さと春の気温の上昇が、飛散開始のタイミングを左右します。

花粉の飛散開始時期に影響する2019年12月～2020年2月の気温は、平年並か平年より高くなる予想です。全国的に暖冬傾向ではあるものの、断続的な寒気の流れ込みに伴って休眠打破が起こり、2020年シーズンのスギ・ヒノキ花粉の飛散開始時期は平年並かやや早くなるとみえています。

2月上旬には関東を中心に飛散が始まり、2月中旬には近畿や東海など西・東日本の広範囲で、2月下旬には北陸や東南北部、3月上旬には東北北部でも飛散が始まる予想です。

なお、飛散開始時期は1月下旬以降の寒さが緩むタイミングに大きく左右されるため、随時最新の情報をご確認ください。



＜飛散ピーク時期：西・東日本のスギ花粉は2月下旬～3月中旬、ヒノキ花粉は3月下旬～4月中旬＞

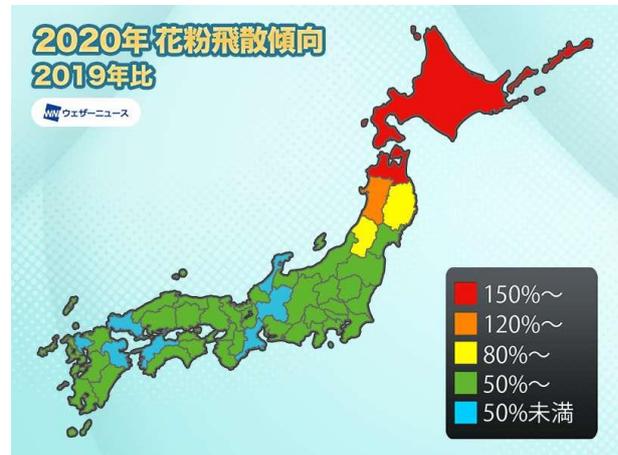
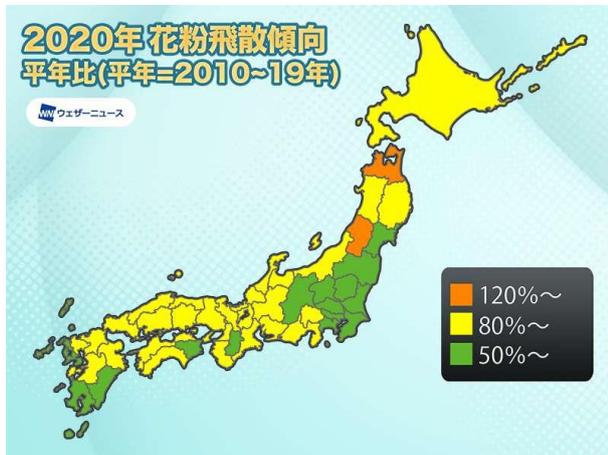
スギ花粉の飛散ピークは、西・東日本の広範囲で2月下旬～3月中旬、東北では3月上旬～4月中旬の予想です。3月が終わりに近づくとスギ花粉のピークは越え、代わって西日本からヒノキ花粉が増えていきます。

ヒノキ花粉の飛散ピークは、太平洋側のエリアでは概ね3月下旬～4月中旬、日本海側のエリアでは4月上旬～中旬となる予想です。

また、シラカバ花粉が飛散する北海道では、道南・道央はゴールデンウィーク前後、道北・道東は5月中旬に飛散ピークを迎える予想です。



＜予想飛散量：全国的に少なめ、全国平均で平年比85%、2019年の半分以下の地域も＞



2020年のスギ・ヒノキの花粉飛散量は、東北日本海側を中心に平年を上回る地域があるものの、全国的には平年を下回る予想です。全国平均では平年の85%程度になるとみています。

また、2019年と比べても、花粉の飛散量は、北海道と東北北部、東北南部日本海側を除いたほとんどの地域で少なくなる予想で、2019年の半分以下になる地域もあります。ただ、総飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量の花粉が飛散することがあるため、油断せずにシーズン前からしっかりと対策を行ってください。

※予想飛散量は10月1日発表の「第一回花粉飛散傾向」から変更ありません。詳細はウェブ版プレスリリースよりご覧いただけます。

(<https://jp.weathernews.com/news/29159/>)

◇雄花調査の結果：「例年/昨年より少ない」報告が多数、台風の影響は限定的の見込み

ウェザーニューズでは2019年の夏の天候、年ごとの飛散量傾向、雄花調査の結果などを検証して、2020年春の花粉飛散量を予想しています。本発表では2019年11月8日～15日に全国のウェザーニューズ会員から寄せられたスギの“雄花リポート”を活用しています。

雄花リポートを集計した結果、雄花が「例年/昨年より少ない」という報告数が、「例年/昨年より多い」という報告数を上回りました。また、関東エリアのウェザーニューズ会員からは、台風によるスギの倒木や塩害によって枯れたスギの報告が寄せられました。ただ、倒木や塩害による影響は限定的で、飛散量を大きく変化させる水準ではないとみています。



神奈川県秦野市・11月8日「少し少なめです」



神奈川県葉山町・11月15日「ほとんど枯れています」

◆エリアごとの 2020 年花粉飛散傾向

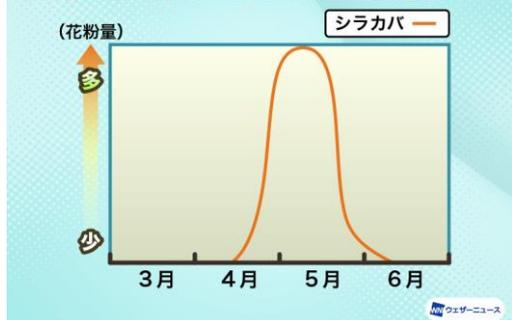
北海道：飛散開始は 4 月以降 飛散量は少なかった前年の約 2 倍に

この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、4 月以降、寒さが緩むタイミングで花粉が飛び始める見込みです。シラカバ花粉の飛散開始時期は平年並かやや早くなると考えられます。道南など早い所では 4 月中旬、その他のエリアでは 4 月下旬から 5 月にかけて花粉シーズンに入るとみえています。

飛散ピークは道南や道央エリアでゴールデンウィーク前後、道北や道東では 5 月中旬で、6 月に入ると段々と飛散量は少なくなる見込みです。

2020 年シーズンのシラカバ花粉の飛散量は、平年の 84%、2019 年シーズンの 195%となる予想です。飛散が少なかった 2019 年シーズンと比べて症状がつかく感じる可能性があるため、しっかり対策を行ってください。

花粉の飛散ピーク予想 北海道



東北北部：飛散開始は 3 月上旬 飛散量は平年比・前年比ともに増加

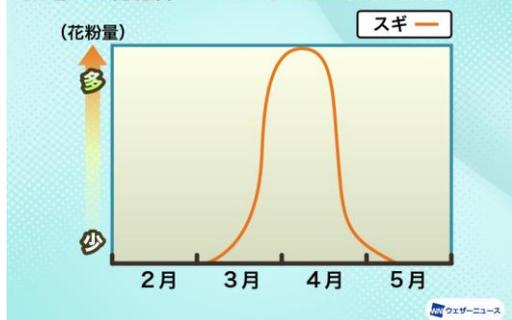
この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、3 月上旬に太平洋側から花粉シーズンに入ると予想しています。

飛散ピークは 3 月下旬～4 月中旬で、その後飛散量は段々と少なくなる見込みです。

2020 年シーズンのスギ花粉の飛散量は、平年の 116～129%、2019 年シーズンの 114～155%になる予想です。2019 年シーズンと比べて症状がつかく感じる可能性があるため、しっかり対策を行ってください。

なお、東北北部で春に多く飛散するのはスギ花粉で、ヒノキ花粉はほとんど飛散しません。

花粉の飛散ピーク予想 東北北部



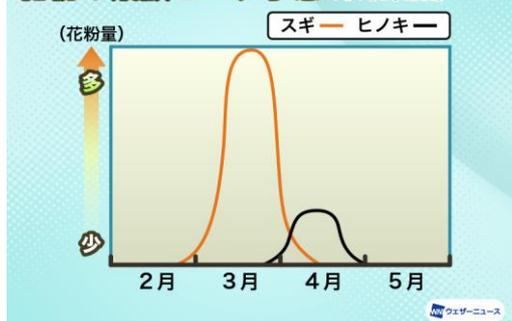
東北南部：飛散開始は 2 月下旬 日本海側を中心に飛散量が増加

この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、2 月の寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2 月下旬に太平洋側から花粉シーズンに入ると予想しています。その後 3 月上旬～4 月上旬にスギ花粉、4 月中旬頃にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020 年シーズンの花粉飛散量は、日本海側で平年の 129%、2019 年シーズンの 111%、太平洋側で平年の 78%、2019 年シーズンの 71～74%になる予想です。日本海側では、2019 年シーズンと比べて症状がつかく感じる可能性があるため、しっかり対策を行ってください。

なお、東北南部で春に飛散するのは例年スギ花粉がメインで、ヒノキ花粉は少ない傾向にあります。

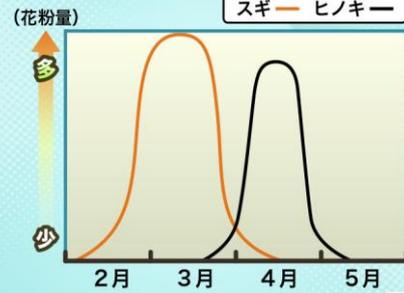
花粉の飛散ピーク予想 東北南部



関東:飛散開始は2月上旬 長梅雨の影響で飛散量は減少
 この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2月上旬と予想しています。
 その後2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020年シーズンの花粉飛散量は、平年の70～76%、2019年シーズンの70～79%と少なくなる予想です。シーズン全体の飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量に飛散することがあるため、油断せずしっかり対策を行ってください。

花粉の飛散ピーク予想 関東

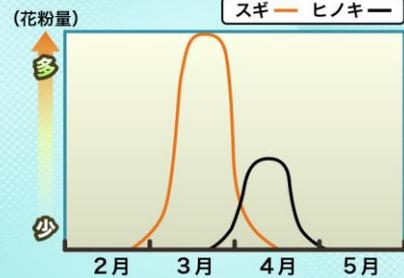


ウェザーニュース

北陸・長野:飛散開始は2月下旬 飛散量は前年比で大幅減
 この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、2月の寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2月下旬と予想しています。
 その後、3月上旬～下旬にスギ花粉、4月上旬～中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020年シーズンの花粉飛散量は、平年の71～93%、2019年シーズンの49～71%と少なくなる予想です。シーズン全体の飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量に飛散することがあるため、油断せずしっかり対策を行ってください。
 なお、北陸で春に飛散するのは例年スギ花粉がメインで、ヒノキ花粉は少ない傾向にあります。

花粉の飛散ピーク予想 北陸・長野

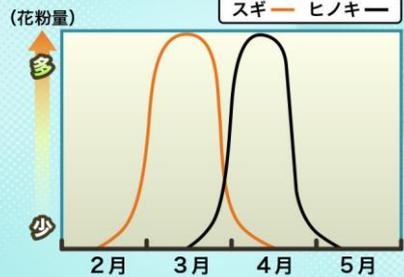


ウェザーニュース

東海・山梨:飛散開始は2月上旬 飛散量は前年比で大幅減
 この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、2月の寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2月上旬～中旬と予想しています。
 その後、2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020年シーズンの花粉飛散量は、平年の82～98%、2019年シーズンの44～71%と少なくなる予想です。シーズン全体の飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量に飛散することがあるため、油断せずしっかり対策を行ってください。

花粉の飛散ピーク予想 東海・山梨

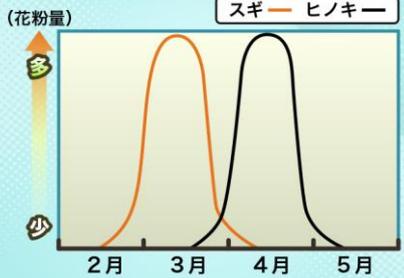


ウェザーニュース

近畿:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年比で大幅減
 この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、2月の寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2月中旬と予想しています。
 その後、2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020年シーズンの花粉飛散量は、平年の79～92%、2019年シーズンの51～72%と少なくなる予想です。シーズン全体の飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量に飛散することがあるため、油断せずしっかり対策を行ってください。

花粉の飛散ピーク予想 近畿



ウェザーニュース

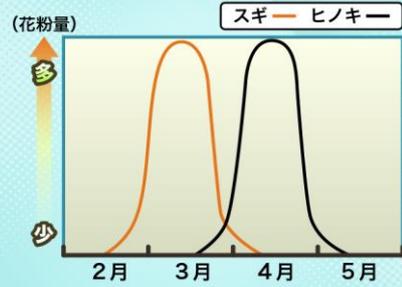
山陽:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年比で大幅減

この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、2月の寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2月中旬と予想しています。

その後、2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020年シーズンの花粉飛散量は平年の80～89%、2019年シーズンの47～66%と少なくなる予想です。シーズン全体の飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量に飛散することがあるため、油断せずしっかり対策を行ってください。

花粉の飛散ピーク予想 山陽



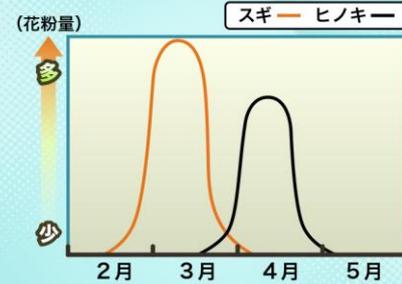
山陰:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年比で大幅減

この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、2月の寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2月中旬と予想しています。

その後、2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020年シーズンの花粉飛散量は平年の85～86%、2019年シーズンの53～63%と少なくなる予想です。シーズン全体の飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量に飛散することがあるため、油断せずしっかり対策を行ってください。

花粉の飛散ピーク予想 山陰



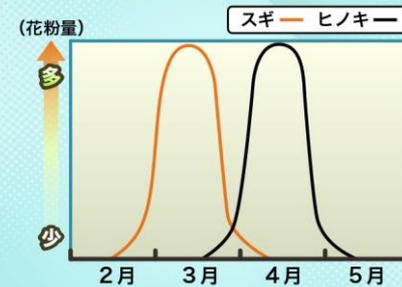
四国:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年比で大幅減

この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、2月の寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2月中旬と予想しています。

その後、2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020年シーズンの花粉飛散量は平年の78～92%、2019年シーズンの49～66%と少なくなる予想です。シーズン全体の飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量に飛散することがあるため、油断せずしっかり対策を行ってください。

花粉の飛散ピーク予想 四国



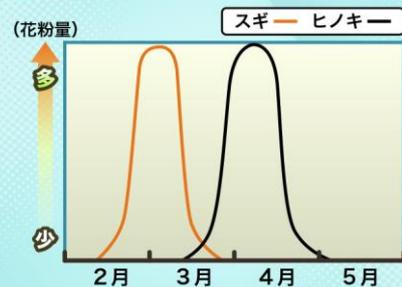
九州北部:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年比で大幅減

この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、2月の寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2月中旬と予想しています。

その後、2月下旬～3月上旬にスギ花粉、3月下旬～4月上旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020年シーズンの花粉飛散量は平年の79～83%、2019年シーズンの42～55%と少なくなる予想です。シーズン全体の飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量に飛散することがあるため、油断せずしっかり対策を行ってください。

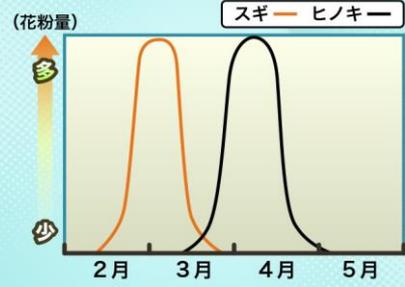
花粉の飛散ピーク予想 九州北部



九州南部：飛散開始は2月中旬 飛散量は前年比で大幅減
 この冬は暖冬傾向ですが、断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、2月の寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始める見込みです。花粉の飛散開始時期は平年並かやや早く、2月中旬と予想しています。
 その後、2月下旬～3月上旬にスギ花粉、3月下旬～4月上旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2020年シーズンの花粉飛散量は平年の73～79%、2019年シーズンの59～60%と少なくなる予想です。シーズン全体の飛散量が少なくても、一時的・局地的に大量に飛散することがあるため、油断せずしっかり対策を行ってください。

花粉の飛散ピーク予想 九州南部



◆都道府県ごとの2020年花粉飛散傾向

エリア	都道府県	花粉飛散量 (2019年比:%)	花粉飛散量 (平年比:%)	花粉シーズンイン予想	花粉シーズンアウト予想
北海道	北海道	195	84	4月下旬	6月中旬
東北北部	青森県	155	129	3月上旬	5月上旬
	岩手県	114	116	3月上旬	5月上旬
	秋田県	135	117	3月上旬	5月上旬
東北南部	宮城県	71	78	2月下旬	5月上旬
	山形県	111	129	3月上旬	5月上旬
	福島県	74	78	2月下旬	5月上旬
関東	茨城県	76	74	2月上旬	5月上旬
	栃木県	70	76	2月上旬	5月上旬
	群馬県	75	71	2月上旬	5月上旬
	埼玉県	75	70	2月上旬	5月上旬
	千葉県	79	71	2月上旬	5月上旬
	東京都	75	70	2月上旬	5月上旬
	神奈川県	75	71	2月上旬	5月上旬
北陸・長野	新潟県	71	93	2月下旬	5月上旬
	富山県	61	86	2月下旬	5月上旬
	石川県	49	83	2月下旬	5月上旬
	福井県	61	84	2月下旬	5月上旬
	長野県	56	71	2月下旬	5月中旬
東海・山梨	山梨県	71	82	2月中旬	5月上旬
	静岡県	58	90	2月上旬	5月上旬
	愛知県	52	92	2月中旬	5月上旬
	岐阜県	48	98	2月下旬	5月上旬
	三重県	44	92	2月中旬	5月上旬
近畿	滋賀県	51	91	2月下旬	5月上旬
	京都府	59	89	2月下旬	5月上旬

	大阪府	72	87	2月中旬	5月上旬
	兵庫県	69	92	2月中旬	5月上旬
	奈良県	63	79	2月中旬	5月上旬
	和歌山県	52	91	2月中旬	5月上旬
山陽	岡山県	53	89	2月中旬	5月上旬
	広島県	66	80	2月中旬	5月上旬
	山口県	47	81	2月中旬	5月上旬
山陰	鳥取県	53	86	2月中旬	5月上旬
	島根県	63	85	2月中旬	5月上旬
四国	徳島県	66	78	2月中旬	5月上旬
	香川県	63	85	2月中旬	5月上旬
	愛媛県	49	92	2月中旬	5月上旬
	高知県	52	87	2月中旬	5月上旬
九州北部	福岡県	52	81	2月中旬	4月下旬
	佐賀県	42	80	2月中旬	4月下旬
	長崎県	55	79	2月中旬	4月下旬
	大分県	46	83	2月中旬	5月上旬
	熊本県	54	82	2月中旬	5月上旬
九州南部	宮崎県	59	73	2月中旬	5月上旬
	鹿児島県	60	79	2月中旬	5月上旬
全国		64	85	—	—

※平年：天候の平年は1981年～2010年の過去30年平均、花粉飛散量の平年は2010年～2019年の過去10年平均
 ※飛散量：花粉観測機「ポールンロボ」が観測すると想定される花粉数。過去のポールンロボの観測数をもとに予想を算出
 ※北海道はシラカバ花粉の飛散量。沖縄は目立った花粉の飛散がないため除く

◆参考：ウェザーニュースの花粉観測網について ～日本最大級の花粉観測網を展開！～

ウェザーニュースの「花粉プロジェクト」は、花粉症の方々の役に立ちたい！という想いで、2005年から実施しているユーザー参加型の取り組みです。全国のご家庭や企業などに、独自開発した花粉観測機「ポールンロボ」を約1,000台設置し、空気中に含まれる花粉をリアルタイムに自動観測します。

一般的な花粉観測方法では、ガラス板に付着した花粉を顕微鏡で数える「ダラム法」が主流となっていますが、情報の更新に時間がかかるのに加え、1日単位での飛散量しか把握できません。また、観測しているのは病院や自治体を中心ですが、観測拠点の有無や分布については都道府県でバラつきがあり、観測情報が一般に広く公表されていない県もあります。



花粉観測機「ポールンロボ」設置イメージ

ウェザーニュースは、日本最大級の花粉観測網とこれまでの蓄積データを活かし、予報精度向上を目指すと共に、アプリの利便性を高め、花粉症の方が少しでも楽に過ごせるよう、サポートしていきます。